【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成26年4月3日(2014.4.3)

【公開番号】特開2012-166173(P2012-166173A)
【公開日】平成24年9月6日(2012.9.6)
【年通号数】公開・登録公報2012-035
【出願番号】特願2011-31153(P2011-31153)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｆ　5/06　(2006.01)
Ｂ０１Ｆ　3/04　(2006.01)
Ｂ０１Ｆ　15/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｆ　5/06
Ｂ０１Ｆ　3/04　Ａ
Ｂ０１Ｆ　15/04　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成26年2月13日(2014.2.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
ケーシング２は、筒状の気体透過部の外周径より大きな内周径を有し、両端が開放状態にある筒状であることから、該筒状ケーシングの一端をベース（基台）７に形成された所定の勘合部に固定することにより、該筒状の気体透過部１の外周径と該筒状ケーシング２の内周径との差異により該筒状の気体透過部１の外周気体透過面と該筒状ケーシング２の内周径との間隙が液体流路６として形成される。このとき内周径の大きな筒状ケーシング２を選定して間隙を広くすると液体流路６における液体の流量を増すことができ、内周径の小さな筒状ケーシング２を選定して間隙を狭くすると液体流路６における液体の流速を高くすることができる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも、気体透過面に、気体透過量を制限し得る高分子樹脂フィルムにクレーズを生成してなる通気性フィルムを配して超微細な気泡を水中に放出させる筒状の気体透過部１と、該筒状の気体透過部へ加圧状態の気体を供給する送気システムと、該筒状の気体透過部１の外周径より大きな内周径を有する両端が開放状態にある筒状ケーシング２と、該筒状の気体透過部１と該筒状ケーシング２を勘合することにより該筒状の気体透過部１の外周径と該筒状ケーシング２の内周径との差異により形成される間隙（液体流路６）に水等の液体を導入する送水システムで構成され、気体透過部１に供給される気体の加圧状態を送気システムで調節し、水等の液体を供給する送液システムにおいて送水圧を調節するとともに、内周径の異なる筒状ケーシング２を適宜採用し水の流量を調節して、流速を制御することで、筒状の気体透過部１の外周径と筒状ケーシング２の内周径との差異により

形成される間隙（液体流路６）を通過する水流により、気体透過面で気体透過の初期段階に成長する気泡をせん断して、所望とする超微細気泡を含有する水を製造することを特徴とする超微細気泡含有水製造装置。